

通院が困難な人のために

訪問歯科診療をご存じですか

●問い合わせ先 高齢者支援課 包括支援センター班
(ヴィーブル内) ☎248-1126



三隅歯科医院
三隅 寛 先生

今回は、三隅歯科医院の三隅寛先生より、訪問歯科診療について話を聞きました。

訪問歯科診療とは

皆さんは歯医者にも自宅を訪問して治療を行なう訪問歯科診療がある事をご存じですか。

訪問歯科診療とは、さまざまな理由で歯科医院に通院することが困難な人のために、歯科医師や歯科衛生士が、自宅または病院や施設を訪問して歯科治療を行なうものです。応急処置などを行なう一時的なものから、計画的な治療を行なうもの、あるいは継続的な口腔ケアを行なうものなど、さまざまな歯科治療を受けることができ、費用は医療保険や介護保険が適用されます。

訪問歯科診療のメリット

一番多いのは入れ歯が痛い、壊れた、新しく作り直したいなど、入れ歯に関する事です。他にもポータブルユニットと呼ばれる機械(携帯型の歯を削る機械)を使った虫歯の治療や、麻酔をして抜歯などの処置をしたり、定期的なプラーク(歯垢)や歯石を取る、などがあります。ただ、自宅での診療は水平に倒れる椅子や明るいライトが有るわけでは無いのでどうしても時間がかかったり、負担のかかる姿勢を取らなければなら

ないこともあるため、治療の時間や方法は利用者の体力に合わせて無理のないように進めていきます。

訪問歯科診療のメリット

歯科医師が自宅を訪問することのメリットは、通院しなくても良いというだけでなく、直接、利用者の食生活や歯ブラシなどの使用状況などを確認することができ、口腔ケアの方法を指導する場合にも本人だけでなく介護者にもアドバイスを行なうことができることです。生活環境や介護の状況も把握できるので、よりの確な口腔ケアを提案することが可能になります。

訪問歯科診療の対象者

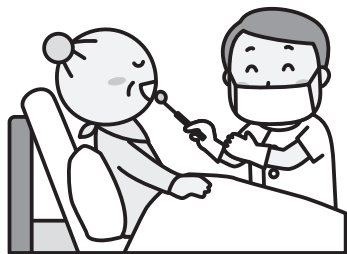
しかし、訪問歯科診療は誰でも受けられる訳ではありません。基本的には要介護者であり、通院困難な人として決まっています。通院困難とは、高齢や障がいがあり、自力歩行ができない、寝たきり、重度の認知症などにより、通院が困難な状態です。また、それらの理由があっても普段は介護者がいる場合は認められない事があります。

訪問歯科診療を受けたいときは

訪問歯科診療を希望するときは、まずかかりつけの歯科医院に問い合わせてください。

かかりつけの歯科医院が無い、もしくはかかりつけの歯科医院が訪問診療を行なっていない場合や、自宅と歯科医院が16km以上離れている場合(保険適用外になる可能性があります)は、『きくち圏域みんなの在宅ネットワーク』のホームページにアクセスし、トップページの下の方にある「歯科医師のカテゴリ」を参照してください。

訪問歯科診療によって、早めの治療・口腔ケアに取り組み、いつまでもお口の機能を維持することが大切です。



日本人に多い大腸がん 早期では自覚症状がないことをご存じですか

日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人は、がんで亡くなっています。中でも大腸がんは臓器別罹患患者数の第1位となっています。今回、市と包括協定を結んでいる大腸肛門病センター高野病院の中村寧先生に、大腸がん検診の現状について話を聞きました。



大腸肛門病センター高野病院
肛門科部長、内視鏡センター長
中村 寧 先生

Q 県ではどのくらいの人が、大腸がんになり、また亡くなっているのですか。

県では、年間1万5千人以上の方ががんになっています。臓器別では大腸がんが1位です。また、600人以上の人が大腸がんで亡くなっています。

▼熊本県のがん罹患数(2017年)

部位	男女計 罹患数
全がん	15,628
大腸	2,336
肺	1,800
乳房(女性)	1,680
胃	1,451
前立腺	1,316

▼熊本県のがん死亡数(2017年)

部位	男女計 死亡数
全がん	5,585
肺	1,125
大腸	682
胃	488
乳房(女性)	216
前立腺	197

Q 大腸がん検診はどのようなものがありますか。

高野病院が実施している大腸がん検診は、便潜血検査とS状結腸内視鏡検査です。

大腸がんが大きくなるとくると出血し、便に血液が混じるようになります。この便中の血液を手がかりに、大腸がんの早期発見に結びつけようとするのが便潜血検査です。

この検査では、便中に規定量以上の血液が混じっている人を陽性と判定します。陽性の人は、がんを含め、消化管のどこかに出血するような病気が潜んでいる可能性があります。そのため、大腸全体の精密検査が必要となります。



便潜血検査(採便容器)



大腸検診車

次にS状結腸内視鏡検査は、大腸がんの最も発症しやすい(全体の約70%)直腸とS状結腸を直接カメラ

で見える検査です。便潜血検査では発見しにくい出血の少ないポリプや早期がんの発見に威力を発揮します。便潜血検査は結果のお知らせに約一カ月必要となりますが、内視鏡検査は直接カメラで見ますので、検査結果は当日お知らせすることが出来ます。



検診車内部(検査)の様子

市では6月に大腸ファイバー検診(S状結腸内視鏡検査)と便潜血検査を実施します

検査を希望する人は、電話もしくは電子申請サービスから申し込みをお願いします。30歳以上(平成4年4月1日以前生まれ)の人が対象となります。

▶電話で申し込みの場合

健康づくり推進課(ヴィーブル内)

☎248-1173

お電話の際は「大腸ファイバー検診の申し込み」とお伝えください。

▶電子申請サービスで申し込みの場合

右記の二次元コードを読み込み申し込みフォームを入力してください。

